

日本東洋医学系物理療法学会

コンプライアンス宣言

日本東洋医学系物理療法学会（以下「当会」という。）では、学会運営において取り扱う会員（正会員、特別会員、学生会員）ならびに当会職員のコンプライアンスを第一義の社会的責任として認識し、以下の方針に基づき、当会の構成会員から当局からの訴追などのない、フェアな学術団体としての位置づけを確立、啓蒙することに努めます。

1. 当会への入会に際し、申込者は当コンプライアンス宣言を承諾し、会の名誉を汚すことなく、当会の目的に対して関連法を遵守することを確認していただきます。

2. 当会は、確認書提出会員のコンプライアンスを尊重し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

○個人情報の取得について

- ・ 当会は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得いたします。

○個人情報の利用について

- ・ 当会は、個人情報を、取得の際に示した利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて利用します。
- ・ 当会は、個人情報を第三者との間で共同利用し、又は、個人情報の取扱いを第三者に委託する場合には、当該第三者につき厳正な調査を行ったうえ、秘密を保持させるために、適正な監督を行います。

○個人情報の第三者提供について

- ・ 当会は、法令に定める場合を除き、個人情報を、事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供いたしません。

○個人情報の管理について

- ・ 当会は、個人情報の正確性を保ち、これを安全に管理いたします。
- ・ 当会は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などを防止するため、適正なセキュリティ対策を講じてまいります。

○個人情報の開示・訂正・利用停止・消去について

・ 当会は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止・消去等を求める権利を有していることを確認し、これらの要求ある場合には、個人情報保護規程に基づき対応いたします。

○組織・体制について

・ 当会は、個人情報保護管理者を任命し、個人情報の適正な管理を実施いたします。

・ 当会は、職員に対し、個人情報の保護及び適正な管理方法についての研修を実施し、日常業務における個人情報の適正な取扱いを徹底いたします。

○個人情報保護コンプライアンス・プログラムの策定・実施・維持・改善について

・ 当会は、この方針を実行するため、個人情報保護コンプライアンス・プログラム（基本方針、個人情報保護規程及びその他の規程、細則等を含む）を策定し、これを当会職員その他の関係者に周知徹底させて実施し、維持し、継続的に改善いたします。

日本東洋医学系物理療法学会
会長 緒方 昭広